

日野町における家庭教育支援の取組

■家庭教育を取り巻く現状

出生数の低下や、地域のつながりの希薄化、共働き（産後の仕事復帰の早まり）等、育児に余裕がなく不安やストレスを抱える保護者が多い。また、町内小・中学校の不登校も依然高い傾向にあり、子どもたちや各家庭の状況に寄り添った支援が必要である。こうした課題を家庭だけで対処するのは困難であり、地域や園・校との連携を深めながらの支援が求められている。

■家庭教育支援で目指す姿（課題解決のために…）

「子育ての悩みを気軽に相談できない」「子どもとどのように接すればよいかわからない」といった保護者の不安に寄り添い、孤立を防ぐため仲間づくりの場や学習機会の提供を行う。また、子育て家庭の抱える課題やニーズについて各機関と情報を共有し、地域全体で家庭教育の向上を目指したい。



【 親子ふれすて 】

■本年度の活動

(1)交流の場「親子ふれすて」の開催

毎月1回、季節の行事にちなんだ工作や遊びをとおして親子がふれあい、親同士や子育てサポーターと交流する。情報交換や、子育ての悩みの解消の場となっている。

(2)学習講座の実施

- ・子育て学習会…町立保育所・こども園・幼稚園では同一講師による講演を実施。乳幼児期に望ましい声かけや接し方について学ぶ機会となった。また各校でもPTA等が主体となり講演会を実施。
- ・就学前子育て学習講座…全小学校にて、就学前検診や入学説明会と同時開催。就学を控えた保護者に対して、入学後に生じやすい困りごとや相談窓口について、SSWより情報を提供した。
- ・子育て親育ち講座…未就園児の保護者が対象。子ども支援課と共同開催。

■訪問型家庭教育支援の実践内容

支援員は、対象家庭に定期的な訪問を行い、現状の確認やアドバイスを行っている。各学期の初めと終わりには支援員、事務局、学校長、不登校担当課長で今後の方針や課題について協議している。今年度途中より、学校や学童を拠点としたケースも追加し、体制を整えている。

■本年度の成果

アウトリーチ型の学習会について内容を強化し、より保護者のニーズに合わせた内容で開催することができた。今後も町をあげて保護者の学習機会の場を充実させていきたい。訪問型家庭教育支援についても人員の増加があり、活動範囲を拡大することができた。



【 就学前子育て学習講座 】

■今後の課題

情報をいかに広く届けていくのか、各機関との連携強化が必要である。

家庭教育支援員の取組を拡大するには、人員の確保だけでなく活動へのサポートが不可欠である。保護者や子どもたちへの接し方など、専門的な立場から助言ができるよう体制の充実を図りたい。

報告書記入者（生涯学習課 職員）

“ ゆっくりおおきなあれ ” ～親子に寄り添う家庭教育支援～

日野町 本事業開始年度 平成 20 年度	家庭教育支援員や支援チームに関すること
活動内容 ■ 地域人材の養成 ■ 家庭教育支援体制の構築 ■ 家庭教育を支援する取組 ■ 訪問型家庭教育支援活動の実施	A:家庭教育支援チーム数 (1)チーム B:家庭教育支援員数 (3)人 C:家庭教育支援チームや家庭教育支援員の配置場所数 (4)か所 D:前項(C)の配置場所名 (日野町教育委員会)
年間活動日数(のべ)	(48 日)

■ 活動の具体的内容

○訪問型家庭教育支援の実践等

月に数回、対象家庭を訪問し相談対応、情報提供等を実施するほか、登校しづらい子どもに対して校内や学童にて寄り添う支援を実施している。各学期の最初と最後に打合せを行い、活動の振り返りや今後の対応について協議している。

○地域人材の養成等

今年度は新たな子育てサポーターの養成講座を行っていない。従来の子育てサポーターを対象にサポーター会議を実施。(5回)

○家庭教育支援チームの設置、実践等

日野町子育て支援チームによる会議を実施(6回)

○学習講座・行事の実施等

子育て親育ち講座(対象:0～3 歳の子ども・保護者)…1回
 親子ふれすて(対象:0～3歳の子ども・保護者)…12 回
 夏休みわくわく広場(対象:夏休み中の小学生)…2回
 就学前子育て学習講座(対象:就学を直前に控えた子どもの保護者)…5回
 PTA 子育て講演会(対象:各園・校の保護者)…10 回



【 夏休みわくわく広場 】

○保護者に対する情報提供等

日野町子育て支援チームとして、子育て応援通信「ゆっくりおおきなあれ」を発行(毎月1回)

■ 実施に当たっての工夫

○就学前子育て学習講座の実施にあたり、事前に町内の小学1・2年生保護者を対象に「子どもが入学後に困ったこと」等のアンケート調査を行った。保護者が求めるニーズを把握し、講演内容に反映することができた。

○日野町子育て支援チームでは2ヶ月に1度会議を開催し、各担当事業の予定や報告のほか、参加者の様子について等情報交換を行っている。また子育て応援通信「ゆっくりおおきなあれ」を毎月発行し、親子で楽しめるイベント予定のほかにも保健師や臨床心理士等によるコラムなど子育てに関する情報を発信している。



【 PTA 子育て講演会 】

■ 事業の成果

○PTA子育て講演会、就学前子育て学習講座では実際に保護者が園や学校に集まる機会を利用し、アウトリーチ型として開催した。参観日や就学前検診等と同日に開催したため、多くの保護者に聞いていただける機会となった。保護者からは「不安な気持ちがあったが、話を聞いて少し安心できた」「これからは、聞いたことを参考に子どもへの声かけを意識したい」など好評を得ている。

○親子ふれすてでは、季節にちなんだ工作やクッキング、運動あそびなどを取り入れ「親子での体験の場」を提供している。内容は子育てサポーターと協議をしており、初めてでも参加しやすい雰囲気で開催することができた。

■ 事業実施上の課題

○子育て支援チームとして定期的に会議を実施しているが、子育て事業に関しては庁内でも他課との調整などさらなる協議を重ねる必要がある。

○講演会やイベント等に関して、内容が固定化している部分があるため新たな視点で見つめ直していきたい。

報告書記入者(生涯学習課 職員)